

平成28年度 第1回座間市総合戦略推進懇話会 会議録

日 時 平成28年7月22日（金）10時～11時30分

場 所 座間市役所3階 3-1会議室

出席者 秋澤委員、鍛冶委員、黒部委員、武井委員、長本委員、村山委員

事務局 三浦企画財政部長、山中企画財政部参事兼企画政策課長、安藤企画政策係長、
山本主事、小西主事、小澤主事

関係者 安部商工観光課長、篠原健康づくり課長、山本介護保険課長、冠保育係長

傍聴者 無

公開可否 公開 一部公開 非公開

議題

- ・座間市総合戦略及び座間市人口ビジョンについて
- ・重要業績評価指標（KPI）について
- ・質疑応答

資料

- ・資料1 座間市総合戦略推進懇話会委員一覧
- ・資料2 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金に係るKPIについて
- ・参考資料1 事業実施結果報告書（様式1）
- ・参考資料2 事業実施結果報告書（様式2）
- ・参考資料3 座間市総合戦略推進懇話会設置要綱

《 開 会 》

- 事務局から委員の任期についての説明
- 市長あいさつ
- 委員自己紹介
- 委員の互選により長本委員が委員長、村山委員が副委員長に就任
- 委員長、副委員長あいさつ
- 事務局から傍聴についての説明
- 事務局から資料の確認
- 事務局から説明
 - ・「座間市総合戦略」及び「座間市人口ビジョン」について
 - ・重要業績評価指標（K P I）について

（ 委員長 ）

それでは今の説明を踏まえまして、交付金を活用した8つの事業に関わる重要業績評価指標（K P I）について、資料2に基づき検証をしてみたいと思います。

まず、「座間市総合戦略策定事業」につきましては、先ほどの説明のとおりK P Iの設定がないため、検証の必要はありません。

続きまして「介護人材育成事業」について何か御意見はありますか。

（ 委員 ）

期間が短かったため実績値が0であったとのことですが、潜在保育士のように、資格はあるが、待遇その他の理由で職業についていない方が多い、ということが介護士の場合にもあるのでしょうか。資格を持っている人が少なくて不足しているのか、資格はあるが職業についていない人が多いのか、リサーチはしているのでしょうか。

（ 介護保険課長 ）

潜在的な人材の数は把握しておりませんが、業務が大変なので、1つの事業所で何年も勤める方は少ないという話を伺っています。「介護人材育成事業」は、市内の1つの事業所に6か月以上継続して勤務することを条件の1つとしています。そういうことも影響していると思います。また、大変な仕事なので、新たに資格を取って市内の事業所に勤める方自体が少ないのではないかと、という話も伺っています。リサーチについては、実施していません。

(委員)

ロボット特区なので、介護用のロボットを充実できるような考えでも良いのではないのでしょうか。介護人材の育成のためには、多方面から見た方が良いでしょう。

(委員長)

お話にありましたように、多方面から事業を検討していただければと思います。

(委員)

6か月以上継続して働くという条件があるとのことですが、資格取得のための教育期間が必要な事業だと思います。支援するような教育はどのくらいの期間がかかるもので、それを支援するための広報はどのくらい時間がかかるものでしょうか。

(介護保険課長)

資格取得のための教育に要する期間は把握していません。今年度、市単独で事業を継続している中で、その経過を見ながら人材育成につながるような講座等も検討する必要があるのではないかと思います。

(委員)

長期的な戦略に対して短期的な成果が求められているような印象があります。

(委員)

資格を取って、かつ6か月継続する条件になっていますが、資格取得のための講座は、現在家庭でもできるようなものが出ています。介護人材についても、就労目的の人材確保に限らず、家庭内介護を検討していった方が良いでしょう。また、補助を受けるのに、様々な条件があると該当する人がいなくなってしまう。

(委員長)

セミプロのような家庭内介護を行う人材確保ができると良いと思います。

(委員)

家族や地域が連携して介護をしていく体制づくりが大切です。講座も一つの手段になると思います。

(委員長)

大きな可能性を持った事業だと思います。

続きまして「保育施設防災・減災体制強化事業」について御意見をお願いします。

(保育係長)

「保育施設防災・減災体制強化事業」について補足説明をさせていただきます。災害発生時に安全確保をするために主に4項目に分けて保育園の防災強化を図っています。まず職員の防災知識の向上のために、市内の災害ボランティアネットワークの監修のもと、防災に関する知識の向上を図りました。2点目として、保育士が被災地の視察研修を行いました。被災地の保育園にうかがい、当時の状況等ヒアリングをし、今後、災害が発生した際の対応についての情報収集に努めました。3点目、4点目は関連しておりまして、災害ボランティアネットワークの監修のもと、保育園に対して、備品や消耗品の備蓄不足について聞き取り及び指摘をしていただき、不足分をリカバリーするために購入等を行いました。

(委員)

施設評価をするのは誰でしょうか。

(保育係長)

2回程防災に関する研修を実施し、その後各園1回ずつ実施研修ということで保育園に災害ボランティアネットワークにお越しいただき、防災訓練を行いました。最後に園長会の際にも災害ボランティアネットワークにお越しいただき、各園の防災訓練の評価・講評をいただきました。

(委員)

保育園が防災拠点であることを市民の方に今後発信していくのでしょうか。また、備品、消耗品も継続的に補充していく必要があると思いますが、今後のフォローアップはどのようにされるのですか。

(保育係長)

備蓄品は財政部門と協議して補充を検討していきたいと思います。

研修に関しても継続していくことが大切だと思いますので、園長会等で有効性について検討し、必要があると判断されれば継続していきたいと思います。

保育園が防災拠点であることのPRは、保育園に入っていない方への発信はしていない状況なので、貴重な御意見として受け止め、今後検討していきたいと思います。

(委員長)

続きまして「創業支援事業」について御意見ございますか。

(委員)

実績がすごいと思います。推測ですが、この相談の機能というのは元々商工会で果たしていたのだらうと思いますが、なぜこんなに増えたのでしょうか。また、この60件は、どのような形の創業を目指したものなのでしょうか。

(商工観光課長)

この結果の大部分は、商工会で通常実施されている業務の成果だと思います。また、平成27年度から創業支援の補助金制度を開始したので、そのPRの効果があったのかもしれない。

(委員長)

今年度、商工会では「ざまりん創業塾」を開設しました。年5回の開催ですが、当初20名の予定が30名参加されました。参加される方には3種類の方がいます。創業したい方、創業の準備に入られている方、創業して間もない方です。

退職した後に創業したいと考える人も多くいました。

(委員)

退職後に創業したい方はどういった分野での創業を考えているのですか。

(委員長)

在職中に得たスキルを活かした仕事が多いです。また、趣味を活かした仕事を、という方もいます。

続きまして「展示会出展補助事業（販路開拓支援事業）」について御意見をお願いします。

(商工観光課長)

「展示会出展補助事業（販路開拓支援事業）」について、補足説明させていただきます。実績値が2社となっていますが、これは別々の展示会です。展示会については細かい規定は設けていません。製造業に限らず、色々な業種を対象にしています。去年は事業の開始が遅かったこと、またPRが不足していたためか、実績が2社に留まりましたが、目標を達成できるよう周知に努めていきたいと思っています。

(委員長)

特に意見が無いようですがよろしいでしょうか。

続きまして「受注拡大のための設備導入補助事業（販路開拓支援事業）」について御意見を
お願いします。

(委員)

「従業員給与が下落が続けている」という表記がありますが、賃金についてはここ何年か
で伸びているという説と実質的には下がっているという説があり、これについてはどのよう
な統計を根拠にしているのでしょうか。また、座間市のことなののでしょうか。

(商工観光課長)

おそらく座間市の統計要覧、または総務省の労働力調査年報によるものだと思います。資
料に記述のある製造品出荷額については市の統計にも表れていまして回復傾向にあります。

(企画政策係長)

御議論いただいている8つの事業は、平成26年度の国の交付金を活用し、平成27年度
に実施した事業となることから、今の情勢と若干のタイムラグがあります。資料2の記述は、
当初の事業の概要なので、御考慮いただきたいと思います。

(委員長)

続きまして「観光プロモーション推進事業」について御意見をお願いします。

(商工観光課長)

「観光プロモーション推進事業」について補足説明させていただきます。平成27年度に
市のPR動画の作成、また、そういった動画を放映するためのデジタルサイネージを導入し
ました。動画については、現在市のHPの「ようこそ座間へ」というページからユーチュー
ブへとリンクを張り、見ていただけるようになっています。こちらを見ていただくことで座
間がどのような街か、皆さまに御理解いただけたと思います。

デジタルサイネージについては、5台導入しました。そのうちの2台については、市庁舎
とハーモニーホール、3台目については3月から城南信用金庫相武台支店に設置していただ
いています。残りの2台については、常設ではなく、イベント時に持ち込みをし、活用して
います。4月には厚木のイベントに持ち込み、観光協会が出展したブース前に設置しました。
今後も他市へ出ていくようなイベント時に使用したいと思います。

(委員)

K P Iの入込観光客数がどのようなものなのか、また、指標値と実績値の差をどのように捉えているのか教えてください。

(商工観光課長)

入込観光客数は毎年県に報告している数値で、大凧まつりやひまわりまつり、イベントに来られた方の数、谷戸山公園に遊びに来た方の数を集計したもので、座間市民も市外の人も含まれています。実績値との差は指標値が若干高かったためと考えます。

(委員長)

屋外イベントは天候に左右されやすいというのも理由の1つではないでしょうか。指標値は48万となっていますが、天候に恵まれれば50万くらいになったかもしれません。

(委員)

市外から来ていただくことも大切です。厚木市のイベントでもデジタルサイネージの活用があったようですが、特に市外に向けて、何か考えていることはありますか。

(商工観光課長)

国内の友好交流都市である須賀川市を毎年訪問しているので、その際にデジタルサイネージを活用したいと考えております。その他、イベント時には商工観光課が直接出向かなくても貸出ということで全庁的に活用することも考えています。

(委員長)

続きまして、「健康寿命延伸に向けた、「健康状態見える化コーナー」の設置連携事業」について御意見を申し上げます。

(健康づくり課長)

補足として2点ございます。まず「健康状態見える化コーナー」という名称についてですが、5市1町1村での打ち合わせの中で「健康状態」という言葉が固いという意見がありましたので、現在は「健康度見える化コーナー」という名称を使用しています。2点目としまして、K P Iの設定についてですが、5市1町1村で話し合い、決定したものです。健康寿命を延伸することが大前提ですので、何歳まで健康寿命を延ばすか、ということが通常設定すべきK P Iであると考えますが、今回は、まずは市民自らが簡単に数値を測ることを目的として、今回のようなK P Iを設定しました。数値に関しては既に達成しているため、新たな目標値を検討していく必要があるかもしれません。

(委員)

「健康度見える化コーナー」はどこにあるのでしょうか。

(健康づくり課長)

市民の皆さんが活用しやすいよう、市民健康センター入口のロビーに常設しています。管理人がいる時のみ使用できるようになっています。利用時間については、今後時間を延ばしていきたいと思います。

(委員長)

ありがとうございました。本日皆さまにいただいた貴重な御意見については、事務局に取りまとめをお願いしたいと思います。

また、本日はお時間の都合上、十分に議論をすることができませんでしたので、言い足りなかったこと、また本懇話会後に思いついたこと等については、お手元の「意見提出シート」に御記入いただき、1週間後の7月29日（金）までに御提出いただければと思います。

最後に「議題3 その他」としまして、何かございますか。

○事務局から事務連絡

(委員長)

皆さまよろしいでしょうか。それでは本日の協議はこれで終了とさせていただきます。

○閉 会

以上